



# 備前市議会だより

第40号 発行/2017. 5. 1 備前市議会 編集/備前市議会だより編集委員会 TEL(0869)64-1803



## 春の正楽寺山門（蕃山 岡山県指定重要文化財）

### お も な 内 容

- \* 3月定例会のようす ..... 2
- \* 審議結果 ..... 3
- \* 各議員の賛否一覧 ..... 4
- \* 一般質問要旨 ..... 5
- \* 市政を問う ～13人が質問に立つ～ ..... 6～12
- \* 委員会審査のようす ..... 13～15
- \* 編集後記 ..... 16

### 陽春の正楽寺山門

正楽寺は奈良時代天平勝宝年間に創立された古刹と言われ、この荘厳な八脚楼門は文化14年（1817年）に建てられたと棟札によって記されています。

このほど、県から重要文化財に指定され、今なお、堂々たる姿で蕃山の地を訪れる人を迎えています。

# 3月定例会の概要

9人が討論 新年度予算を巡る議論

第1回定例会は、3月1日に開会され、3月24日までの24日間でを行いました。開会后、議長、市長の政務報告、並びに教育長報告に引き続き、市長から提出された49議案のほか計51の案件を上程して審議に入りました。

## 定例会審議のあらまし

開会日（3月1日）には、提出された各議案の提案理由の説明を受け、固定資産評価審査委員、三石・三国地区財産区管理委員など人事案件4件を提案どおり選任すること等に同意しました。

### 一般質問は、

3月8日、9日、10日の3日間で行われ、計13議員から市政が抱える課題や指摘、議員からの提案に対する議論が行われました。

10日の一般質問後には、議案質疑を行い、受理していた請願3件とともに、それぞれ詳細な審査のため各常任委員会に付託することになりました。

### 最終日（3月24日）には、

企業用地造成工事の請負契約変更議案が追加提案され、これを含む委員会審査を終えた48案件の結果について、委員長報告・少数意見の報告がなされた後、討論及び採決を行った結果、48件中、原案可決45件、修正可決1件、否決1件、請願不採択1件となりました。

また、設置中の百条委員会調査費関連の発議案1件、旭東用排水組合議会議員の選挙を行ったほか、不在となっている議員選出監査委員に関する緊急質問がなされた後、定例会を閉会しました。

## 委員長報告と議案採決

付託された議案・請願は、審査結果を本会議に各常任委員長が報告し、少数意見があればその報告の後に、討論・採決を行って議決します。主なものは次のとおりです。

◆高校生等子育て世帯生活応援券交付条例の制定

前回（昨年）の定例会）で5万円だった案とほぼ同様に、該当者1人当たり年6万円の生活応援券をその世帯に交付しようとするもので委員長報告は否決。必要な事業だとする少数意見報告後、討論・採決し、賛成少数で否決となりました。

### ◎原案賛成の要旨

市内約千人の高校生世帯を応援し、少子化や人口減少に少しでも役立てばとの思いで温かい施策を求める。県下町村では高校生への学習や通学援助もあるのが必要であり、対案もない反対は冷たい態度である。

### ◎原案反対の要旨

昨年9月、11月には同様の5万円支給案を否とした。それを6万円にして認めよという案は理解に苦しむ。バラマキの一時金ではなく無利子化奨学金等で毎月の支援を考えるべき。

### ◆平成29年度一般会計予算

備前市の一般会計の当初予算案で、高校生等世帯への生活応援券交付、備前焼まつりほか関連事業費や小・中学校給食費と学用品費の全面無償化に要する予算を巡り、意見が大きく分かれた議論（詳しくは15頁）があり、委員会での予

算の一部修正が委員長報告され、少数意見報告の後、9議員から賛否を表明する討論があり、記名投票により修正を可とする者が多数となり、修正可決と議決しました。

### ◎討論の要旨

人件費にふるさと納税を充てた不安定な予算。幾ら立派な子育て施策も意味がない。また一気に7倍になる備前焼まつり補助は一般には受け容れられない。

伝統工芸を守る意味で、陶芸で生活できなくなる前に手を打つべきで、2千万円でイベントや広告等を通じて誘客効果を出すことが好循環を生む。

効果が出ないまま次々に一律の無償化は間違い。検証や基準づくりを願う。入学時や第3子以降にターゲットを絞るべき。

財源がふるさと納税なら反対と教育長が断言した給食費や学用品費の無償化財源は一般財源だ。このような先進的な施策は思い切ってやるべき。

アリとキリギリスの話に行き着くが、詳細で着実なものが成果に繋がる思いを修正案に込めた。人口流出や貧困対策に繋がるものだ。特に学用品費無償化は、何かを我慢して子育てしている

備前の子の親の頑張りを応援したい。

■市長選後に民意を反映した予算とするのが全国の自治体の常識。骨格予算の範囲を超えている。

□県下トップクラスの子育て支援ができてつある。要保護者だけへの支援では人口減少に対処できない。総予算額211億円の1%に満たず、過去2年のふるさと納税で市に入った23億円のうちのたかが2億円の事業を批判し修正する意見に根拠はない。

■ただかか2億円という意見に反論する。何でもかんでもタダにするのはだめで、垂れ流しに繋がると考える。備前焼まつり分には前年比100万円の上乗せ、給食費分には当初教委が検討していた額である半額を残す修正だ。

本会議において、これほどの議員が登壇し賛否を表明した例は余りなく、加えて記名投票による採決が行われた議決となりました。それだけ各議員は予算案に対して真剣に臨み、様々な面から議論を交わし合った審議であったことをお伝えします。

(編集委員長 石原和人)

## 議案等審議結果

予算案 (平成29年度当初予算・平成28年度補正予算)	付託委員会	議決状況	議決形態
一般会計予算	予算決算審査	修正可決	賛成多数
国民健康保険事業特別会計予算	厚生文教	原案可決	全会一致
土地取得事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
三石財産区管理事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
三国地区財産区管理事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
浄化槽整備事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計予算	厚生文教	原案可決	全会一致
介護保険事業特別会計予算	厚生文教	原案可決	全会一致
飲料水供給事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
宅地造成分譲事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
駐車場事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
企業用地造成事業特別会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
水道事業会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
下水道事業会計予算	総務産業	原案可決	全会一致
病院事業会計予算	厚生文教	原案可決	全会一致
一般会計補正予算 (第5号)	予算決算審査	原案可決	全会一致
国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)	厚生文教	原案可決	全会一致
土地取得事業特別会計補正予算 (第1号)	総務産業	原案可決	全会一致
三石財産区管理事業特別会計補正予算 (第1号)	総務産業	原案可決	全会一致
後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第3号)	厚生文教	原案可決	全会一致
介護保険事業特別会計補正予算 (第4号)	厚生文教	原案可決	全会一致
企業用地造成事業特別会計補正予算 (第1号)	総務産業	原案可決	全会一致
下水道事業会計補正予算 (第3号)	総務産業	原案可決	全会一致
病院事業会計補正予算 (第4号)	厚生文教	原案可決	全会一致

条例案 (制定・改正)	付託委員会	議決状況	議決形態
市の組織及びその任務に関する条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
市一般職非常勤職員及び臨時的任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正	総務産業	原案可決	全会一致
市税条例等の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致

市営バス運行事業に関する条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
市立保育園設置条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
子育て支援拠点施設設置条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
加子浦歴史文化館設置条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
看護学生等修学資金貸与条例の一部改正	厚生文教	原案可決	全会一致
地域福祉計画策定委員会条例の制定	厚生文教	原案可決	全会一致
病児・病後児保育施設設置条例の制定	厚生文教	原案可決	全会一致
高校生等子育て世帯生活応援券交付条例の制定	厚生文教	否決	賛成少数
農業委員会の委員等に関する条例の制定	総務産業	原案可決	全会一致
教科用図書選定委員会条例の制定	厚生文教	原案可決	賛成多数

その他議案・報告及び請願	付託委員会	議決状況	議決形態
固定資産評価審査委員会委員の選任同意	—	同意	全会一致
三石財産区管理委員の選任同意	—	同意	全会一致
三国地区財産区管理委員の選任同意	—	同意	全会一致
過疎地域自立促進計画の一部変更	総務産業	原案可決	全会一致
字の区域・名称の変更	総務産業	原案可決	全会一致
字の区域・名称の変更	総務産業	原案可決	全会一致
市道路線の認定	総務産業	原案可決	全会一致
畠田香登西企業用地造成工事の請負契約の変更	総務産業	原案可決	全会一致
人権擁護委員の候補者の推薦	—	適任	全会一致
専決処分(損害賠償額の決定及び和解)の報告(報告第1号)	—	報告	—
年金の毎月支給を求める請願(請願第14号)	厚生文教	不採択	賛成少数

発議案(委員会発議・議員発議)・選挙	付託委員会	議決状況	議決形態
旧アルファビゼン盗難事件調査特別委員会の調査経費に関する決議	—	原案可決	全会一致
旭東用排水組合議会議員の選挙	—	選挙	指名推選

## 賛否が分かれた案件に対する各議員の賛否一覽

案件	上段: 会派名 下段: 議員名	公明党 備前市議団		新志会			至誠会		経民会			びぜんの桜			無党派	賛成	反対	
		掛谷	森本	立川	石原	星野	尾川	山本恒	守井	西上	山本成	田原	津島	橋本				田口
一般会計予算 (平成29年度当初予算)	修正案	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	9	6
	修正箇所を除く原案は全会一致で可決																	
高校生等子育て世帯生活応援券交付条例の制定		○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	7	8
教科用図書選定委員会条例の制定	修正案	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	6	9
	原案	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	9	6

## 【右下表の見方】

- 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は表決に加わっていない議員を表します。  
記名投票による表決は投票賛否を記載し、起立表決においては着席者を否（反対）とみなす備前市議会の先例に基づいて記載しています。
- は賛成又は反対討論を行った議員を示します。

## 一般質問の要旨

一般質問を行った13人の議員の質問内容は次のとおりです。

発言議員	質問内容	発言議員	質問内容
1 森本 洋子	1 市政について 2 子育て支援について	9 津島 誠	1 市政について 2 財政の健全化について 3 市長の政策決定について
2 川崎 輝通	1 岡山県、大学との連携強化について 2 健康ステーション設置について 3 防災対策の強化について	10 田口 健作	1 備前市施設管理公社と日生有線テレビ株式会社について 2 自治会連絡協議会について 3 平成29年度備前市当初予算の概要について 4 水道事業について 5 下水道事業について 6 市内道路事情について 7 ゴミの無い・草の無い道路事情について 8 サイクリング標識について 9 公共交通について 10 定住促進事業について 11 学力向上実践研究事業について 12 庁舎内と無料公衆LANについて 13 備前観光ツアー促進補助金について 14 民生委員について 15 コムスについて
3 石原 和人	1 備前市政について 2 スポーツ施設について 3 愛♡乗りタクシーチケットについて 4 香登駅周辺整備について 5 ふるさと納税について 6 創業支援について		
4 田原 隆雄	1 吉村市政4年間の総括と市長選挙 2 29年度当初予算編成について 3 ふるさと納税について 4 旧アルファビゼンと百条委員会について 5 公共交通について 6 庁舎建てかえについて 7 老朽インフラの整備計画	11 橋本 逸夫	1 平成29年度の予算について 2 ふるさと納税について 3 タクシーチケットについて 4 小中一貫校及び放課後児童クラブについて 5 図書館建設について 6 備前市消防団日生方面隊出初式について
5 山本 恒道	1 平成29年度予算について 2 図書館建設計画について 3 旧閑谷学校世界遺産登録について 4 下水道整備について 5 病院薬局の待ち時間について 6 申告相談について		
6 守井 秀龍	1 1期4年を振り返って 2 住み続けたい街を目指して 3 住んでいてよかった街を目指して 4 長生きしてよかったと思える街を目指して	12 尾川 直行	1 人口減少問題に小学校区での取り組みを 2 発達障害者支援の充実と新たな体制づくり 3 全国学力調査10年の節目と新学習指導要領への対応 4 街路灯・防犯灯の保守点検管理について 5 備前市市民センターの利用促進と維持管理整備について
7 掛谷 繁	1 備前市のBCP策定について 2 子育て支援施策について 3 ふるさと納税について 4 介護・健康福祉について 5 教育行政について 6 自治体のクラウドシステムの導入について		
8 星野 和也	1 平成29年度当初予算について 2 教育について 3 公共施設等総合管理計画について 4 地域間格差の是正について	13 立川 茂	1 農林業センサス係数の考察と農業政策について 2 地域医療政策と市立病院の役割について 3 議会と議会事務局の機能強化について 4 ふるさと納税について

## 市政について

公明党備前市議団 森本

洋子



**問** 4月9日の市長選挙に臨むに当たり、この4年間で市長がめざしたことが成果としてできたか。また、課題は。

**市長** 第2次備前市総合計画にのっとり、一歩一歩着実にスピード感を持って取り組んできた。

本市の将来像「教育のまち備前」に向け、小中一貫教育の導入、エアコン整備、ICT機器を効率的に活用するフューチャールームの整備等を実現。成果に値すると感じる。

**問** 取り組むべき課題は。

**市長** 「教育のまち備前」の推進はもちろん、いかに出生数を増やすか、安心して子育てができる施策を推進するかということが挙げられると考えている。

に対して1人の保育士が必要。保育士の確保が厳しい中で無償化はなぜか。

**市長** 仕事と子育ての両立支援など子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、段階的に取り組んできた。0歳児の保育料無償化は、人口減対策を進める上で必要であると判断。0歳児から5

歳児までの保育料無償化により、子育て支援の充実と若い世代の定住促進が図られると考えている。

**問** 経済的や生活環境の理由により、どうしても就労しないといけないお母さんがいらつしやるのも事実。環境が許されるのであれば、せめて0歳児の間は家庭での保育で、お母さんと赤ちゃんが目を合わせ、お母さんの腕の中で成長していただきたい。赤ちゃん訪問や検診時に親子の時間の重要性をお知らせしていただきたい。

**市長** 0歳児とお母さん

のふれあいの重要性をしっかりと知らせしていく。給食費の無償化について補助ではなく、全額無償化した理由は。

**市長** 補助制度も検討したが、一時的な保護者負担の発生、費用徴収による学校現場の負担など、総合的に考えた結果、無償化を選択した。

**問** 無償化になった場合、児童・生徒、保護者に対して、何らかの説明を行うべきではないか。

**教育長** 経済的負担の軽減で、安心して子どもを育てることができると実感してもらうことが、一番の説明と考える。図書カードを配布した時のように手書きのメッセージで感謝の心をもって給食をいただくように趣旨をお伝えしたい。

**問** 無償化対象の学用品は。

**教育長** 漢字ドリル、計算ドリル、ワークキットなどの教材や消耗品とすることになる。

## 地場産業の振興と企業誘致を推進し 住み続けられる備前市を

※日本共産党

川崎 輝通



**県・各大学と備前市の具体的連携強化を**

**問** 県内の水産業は、1998年105億円の総生産額が、2014年には34.5%減の69億円に下がっています。岡山県水産振興プラン2017年の素案によると、漁船・ノリ

養殖・カキ養殖の主要3漁業は2021年までに5%増になる目標計画です。現在、岡山大学の「岡大インキュベータ」は6年ぶりに満室状態ですが、空き部屋が第2次第、県内水産試験場や岡山理科大学などと連携し、アナ

ゴ・アサリ・シヤコなどの養殖と放流などの具体策を実行するべきです。

**市長** 日生町漁協では、漁獲高を増やすためアマモ場の再生拡大に取り組んでおり、約12haから約250haまでに回復しています。全国アマモサミット後は、里海・里山ブランド推進協議会を結成し、各大学の専門家と連携して地場産業を発展させて

いきます。また、ベンチャー企業支援も必要であり、産学官とNPO団体と協力・連携することが不可欠と考えております。

**総合支所へ健康ステーションの設置を**

**問** 岐阜市では中心地の空き店舗や防災センターに設置して一日あたり181人の市民が利用し、年間4万5千人以上が利用しています。市民の健康管理の意識向上にも貢献しており、本市でも総合支所の利用目標に位置付けてください。

**保健福祉部長** この施設は血圧・体重などの健康チェック、シャワー設備、ロッカーのあるランニング・ウォーキングなどの発着拠点や各種健康教室の会場として利用する施設です。備前市では、Bポイント制度の普及を実施しており、今年は小学校単位で公民館へ体組成計を設置し、市民が自由に利用し、健康チェックができる拠点にしていき

ます。なお、支所・出張所については基本構想を策定中であり、今後の検討課題です。

**防災対策の具体的強化を**

**問** 市内の住宅用火災警報器の設置率は幾らか。全世帯に普及させるために補助金を出して、市民の防災意識向上を高めることが必要と考えるが、どうか。

**市長室長** 平成16年の消防法改正を受けて、新築住宅は平成18年6月から、既存住宅は平成23年5月までに設置が義務付けられています。現在の備前市と和気町の設置率は69.5%です。東備消防組合では、管内100%設置をめざして久々井地区179世帯をモデル地区に設定し、共同購入による促進を行っています。今後、補助制度については、検討してまいりたいと思います。

※所属政党名は一般質問3/8時点で掲載

## 備前市政について

新志会 石原 和人



**問** 私自身、息子が高校生の頃、諸事情により全く畑違いの製造業に転職した経験があり、子どもを育てる大変さは多少理解しているつもりだ。高校生世帯への商品券配布や小中学校給食費・学用品費の無償化が提案されているが、過剰なまでの一律の形で支援は、かえって保護者の意識低下を招くのではないか。所得や子どもの人数等、一定の線引きは必要と考えるが、検討は十分か。

**市長** 提案は最善の方法であり、人口減少問題解決、出生数増加に効果的な施策と考え予算化した。多くの子育て世帯の皆さんから期待されている。  
**問** 逆に、疑念や違和感を抱く市民が多いこともお伝えしておく。これまでも医療費や保育料の無償化が、子育ての負担軽減とともに定住化施策として実施されている。そこでその効果を検証すべく、若年層（20〜34歳）

の最近の転入転出に着目した。昨年が240人減と、過去6年で最も数値が悪化している。これは本市の定住化施策の再点検、再検討が必要であることを示しているのではないか。  
**市長** 必ず人口減少を抑える施策になると考える。スポーツ施設について  
**問** 日生野球場観覧席改修の設計予算が計上されているが、観覧席自体は必要最小限に抑え、荒れているグラウンド内の改修整備も必要と考えるが。  
**市長** 利用者が安全で安心して使用できる改修方法を考えていきたい。  
**愛♡乗りタクシーチケットについて**  
**問** 交付状況、利用率は。  
**市長** 2月末現在で、1833世帯、利用率は49%となっている。  
**問** 利用率の状況を見れば、本当に必要な方に届いていない。車を運転できる方とそうでない方の交付金額に差を設けるべきではないか。

**市長** まずは距離要件を廃止し、距離による不公平感を解消したところだ。香登駅周辺整備について  
**問** 市営駐車場からホームまでの間が未舗装で危険。またガード下が駐輪場と化している。早急な整備を求めるが、どうか。  
**市長** 検討している。今後JRと協議を進めたい。  
**ふるさと納税について**  
**問** 現在の返礼品の数は。  
**市長** 392品目である。  
**問** そのうち、備前市内の産品、市内の施設利用に関するものは何品目か。  
**市長** あわせて144品目。  
**問** 市内の業者が取り扱わない品目はあるのか。  
**市長** 市の直接の取り扱いが2社（8品目）ある。  
**問** 返礼品に「備前焼購入券」の導入はいかがか。  
**市長** 自由を選べ、かつ備前市に足を運んでいただけの有効な手法と考えるが。

**市長** 額面の入った金券は問題があると思われるが、備前焼に関して、新たな施策は考えている。  
**吉村市政四年間の総括について**  
— 新年度予算案とふるさと納税 —  
びぜんの桜 田原 隆雄  
**問** 公約であった市民とともに市政発展・民間活力導入は、対話不足や議会無視、民間業務の公営化など、真反対の行政運営だった。また、中高一貫教育は小中一貫教育へといった間に変化させるなど公約と市政運営のギャップへの自己評価は。  
**市長** 既存の枠にとらわれない新しい視点での市政改革、戦略的かつスピーディな施策展開の姿勢で職員意識を変化させ、将来に期待が持てる市役所となった。  
**公明正大な明るい選挙**  
**問** 公職選挙法の公務員地位利用、利益誘導について見解は。  
**市長** 選挙とは買収や供応などを排し、候補者の掲げる将来像や政策などにより市民の意思が反映されるものと考えている。  
**問** 4月9日午後十時開催予定の市政報告会のポスターはあたくも各市長方が参加されるかの内容だ。各市長へ確認したが、

そんな会合への参加予定はないとの回答だが。  
**市長** 了解は得ている。  
**29年度予算編成は**  
**問** 首長選挙年の当初予算は政策的経費は抑え、義務的経費、既存施設の維持管理費や継続事業など最小限な骨格予算とし、市民の信託を得た新首長の下で本予算編成するので本自治体の常識だが。  
**市長** 人口減少対策を切れ目なく実行することが重要と考えた骨格予算だが、多くの新規事業を計上し、ふるさと納税を財源に充てる手法は継続性に問題があるのでないか。  
**市長** 今後の財政運営に影響を及ぼすことにはなるが、施設の統廃合、事務事業の見直しを行い必要な財源確保に努める。  
**旧アルファビゼンと百条委員会**  
**問** 百条委員会の必要経費が予算査定で認められなかったのは、なぜか。  
**市長** 旅費や議事録作成委託料は、予算計上されている範囲内で可能だ。  
**問** 無償譲渡案も民間の受け手のなかった施設だ。解体撤去し、跡地の有効活用に中央図書館建設案を再度提案するか。  
**市長** 固定資産税の評価額をもとに積算。16億円の資産価値があり、現状での活用が片上の再生に繋がる。議員の提案を検討する予定はない。  
**頭島のバス路線**  
**問** 二重投資とならないような運行を考える方針が、離島航路用で新造した船（1億2千万円）も10月から運航予定で、バスも4月から運行の方針。大多府・鴻島住民との協議やバスと離島航路とのダイヤ調整など存続可能な体制ができたのか。  
**市長** 地元調整ができたのでバスを試験運行する。  
**老朽インフラの整備**  
**問** 老朽しているインフラ整備については。  
**市長** 上下水道は市民生活直結のライフラインと認識。計画的に整備する。

平成29年度は骨格予算なのか、  
また将来に備え基金に積み立てを行うべき

至誠会 山本 恒道



市内における光通信サービスについて

経民会 守井 秀龍



**問** 平成29年度予算は、骨格予算にもかかわらず21億4千万円と大胆な予算となっている。中でも小中学校給食費無償化に約1億7千万円、高校生等子育て世帯応援券発行事業に一人6万円等、総額約7億3千500万円が計上され、その財源は他の事業も含めふると納税寄附金を充てるとしているが、両事業はいつまで続けるのか。

**私**は子育て支援は重要と思うが、備前市は未来永劫続くもの、将来の備前市、これからの備前市を担う子どもたちのために、基金の積立を行うべきである。

**市長** 人口減対策、子ども子育て支援として実施しなければいけない。そのため財源について施設の統廃合、P D C A サイクルによる費用対効果等の検証、スクラップ&ビルドによる事務事業の見直しに努める。

新図書館建設に早急な取

**組と啓発活動** 備前市の現在の図書館の現状は蔵書数約13万冊で他の自治体に比較して劣る。今年2月に慶応大学教授の片山善博先生の講演会で図書館の役割や管理を学んだ。新図書館の場所、建設時期や規模、蔵書予定数等の整備計画は、高梁市の図書館運営は指定管理者制度だが、備前市の管理運営の方法は、片山氏は武雄市などのような管理は行わず、市からの管理費用を抑えていくべきとの意見だが、どうお考えか。

**教育長** 市民の声を反映した市民参加の図書館づくりを進めたい。現在市民サロンを開催しており様々な意見・アイデアをまとめて意見を図書館協議会に諮り進める。高梁市は指定管理者制度を導入しているが、備前市での導入の考えはない。図書館は知の拠点で公設公営が望ましい。

**問** 建設時期はどうか。

**教育長** 7年ほどかかる。市長 合併特例債は平成32年3月31日と限られているので、予算のロードマップを作成する。

**問** 図書館という慶応大学の片山善博先生で、備前市に招へいし、講演会の機会を設けるべき。

**教育長** 全力で頑張りたい。

**旧閑谷学校世界遺産認定により幅広い市民・地元を巻き込んだ推進を**

**問** 旧閑谷学校は日本文化歴史遺産に認定され、世界遺産認定へ取り組んでいるが、市民には「伝わってこない」。今後の活動を工夫すべき。

**市長** 備前・水戸・足利・日田で世界遺産シンポジウムなどを行っている。今後広く市民に世界遺産登録に向けての取り組みに理解をいただく。そのため地元伊里地区の皆さんからの要望を受け、ご協力をいただきながら、情報発信や啓発活動に取り組んでいく。

**問** 住んでいてよかった街をめざしての光通信サービスは。

**市長** 吉永地区では3月17日から申し込み4月3日からサービス提供が開始されます。市全体での普及率はカバー率99%以上と見込んでいます。一部地域で未整備ですので今後とも通信事業者と協議していきます。

**問** 住んでいてよかった街をめざすスポーツ振興（ドーム整備）について。

**市長** ドーム整備については高齢者の健康増進に欠かせないものと認識しております。大型グラウンドゴルフ場を含めた適地の測量設計委託料を計上しており、調査の際にドームについての可能性も探ってまいります。

**問** 住んでいてよかった街をめざして市内観光地の整備について。

**市長** 合併前の旧備前市において備前十景として選定していましたが、現在、新たな選定は行って

おらず、今後、観光十選等について備前市の魅力情報発信に繋がるよう検討を進めます。また、市内の観光施設の整備については必要に応じて進めていきます。

**問** 住み続けたい街をめざし、次の企業団地の考えは。

**市長** 畠田香登西団地については今年度末で造成工事が完了し、その後岡山スイキョウ(株)と協議を行い契約が整った段階で議案として提出したい。次に第二弾の企業団地を検討してまいります。

**問** 住み続けたい街をめざして安全安心な街として河川の土砂対策は。



金剛川の堆積土

**市長** 公共残土処分場について地区と協議を進め

ています。一日も早く確保できるよう努力していきます。

**問** 安全安心な街に向けた津波対策について。

**市長** 津波に対する最大の防衛は自分の命は自分で守ることです。それには、まず避難と考えるおり、自主防災組織で各地区の防災訓練を実施し、避難経路を確認するとともに地区の防災マップの作成も行っております。

自分では避難できない弱者を共助によって支え合う組織づくりを進めて、自主防災組織率を100%にめざして促進していきます。

**問** 雇用促進住宅の今後

**市長** 平成19年の閣議決定で廃止するとされており、市内には吉永、友延片上にあります。この住宅は今年4月1日より全国民間賃貸サービス合同会社が運用し、10年間は現在と同じ条件で運営と聞いています。

## 備前市の安全・安心へBCP (業務継続計画) 策定急げ

公明党備前市議団

掛谷

繁



**問** 備前市のBCP策定の時期や内容について伺います。

**市長** 計画策定は、平成29年度中に行うよう計画している。策定する内容に考えていくことは、

①災害時の首長不在の権限代行順位を最低3位まで決めておく必要があること。また、職員参集体制については、先日の職員非常時参集訓練を活かし今後進めていくこと。  
②本庁舎損壊の場合の代替庁舎を特定し、東備消防組合庁舎内に代替本部室を設置する等、移転に必要な手順を決めておく必要があること。  
③電気・水・食料の確保

については、いまだ災害対応に必要な設備機械機器への電力供給が完全にはできない状況。水や食料の確保についても、被災者用の備蓄とは別に3日から1週間分の水食料等の備蓄が必要だが、十分な確保には至っていないこと。

④多様な通信手段の確保について、本庁と総合支所間の回線を2ルート化するネットワークが必要で、冗長化を検討している。固定電話や携帯電話回線が断絶した場合、整備中の移動系デジタル防災行政無線施設も有効な手段と考えている。

⑤行政データバックアップについて、本庁サーバー室が使用不能になった場合に備え、現在も実施している他施設への定期的なデータバックアップで対応していくこと。

⑥優先的に実施する業務を「発災直後」「概ね3日まで」「1週間まで」に区分し、非常時優先業務として整理していく必要があることである。

**子育て支援施策について**  
**問** 市独自の給付型奨学金の創設についてのお考えは。

**市長** 市の奨学金の無利子化や返還年限の延長ができるよう制度の拡充を行う。若者が経済的理由

で大学などへの進学を断念することがないよう支援していきたい。2017年度から市の奨学金制度を無利子化し、返還期限も最長10年から20年に延長する方針である。市独自の「給付型奨学金」の創設については、今後しっかり検討していく。

**問** 子育て支援に「入学準備金の支給」を提案するが、いかがか。

**教育長** 就学援助制度に基づき準要保護世帯に新入学児童生徒学用品として、7月に支給しており、費用が必要になることから、支給時期の変更を検討していきます。

**問** 備前市におけるいじめ対策は万全か。

**教育長** 道徳の授業で「思いやりの心」「友情」を上げ、学級活動で児童生徒の心情を培うことやグループで対人関係・行動習得訓練を実施している。

## 将来にわたって持続可能な行政サービスを

新志会

星野

和也



**問** 市民税が減少する中、ふるさと納税や地方交付税による歳入を大きく見込み、2年連続して200億円を超える額の予算を編成しているが、財源不足に陥るリスクはないのか。

**市長** 「教育のまち備前」の実現や公共交通の維持、人口減少対策、地方創生関連に多額の財源を要することから、施設等の統廃合、P D C A サイクルやスクラップアンドビルドによる事務事業の見直しなどにより必要とされる財源の確保に努めたい。

**問** 市長選を控えて骨格予算が望ましいとされているが、肉付予算の財源は確保されているのか。

**総合政策部長** 当初予算の中に留保という形で残っているものはない。補正予算を編成する段階で財源を考えていくことになり。

**問** 給食費・学用品の無償化が提案されているが、他の自治体では財源確保のため様々な知恵を絞っている。本市はどのようなか。

**市長** 予算書のとおり一般財源を充当している。

**問** 耐震化、トイレの洋式化等の学校施設の整備に目途が付き、今後ソフト面の充実に本格的に取り組めるが、どこに重点を置くのか。

**教育長** 市が学校教育の基本的な枠組みとする小中一貫教育を各中学校区で推進していきます。また、今年度中にも小・中学校の学習指導要領が改訂されることを踏まえ、小学校英語の教科化への対応を含む英語教育の充実等で、指導要領の全面実施への準備を進めます。

加えて、就学後の子育て世帯の負担軽減にも取り組んでまいります。

**問** 公共施設等総合管理計画 将来にわたって持続可能な行政サービスを維持し、長期的な視点に立ち、更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うこ

とで、財政負担を軽減、平準化することや施設の適切な維持管理や最適な配置の実現を目的に策定が進められたが、今後どう取り組むのか。

**市長** 来年度から公共施設再配置計画の策定準備を進めていく予定です。

**問** この計画では、今後40年間、現有する公共施設等をすべてそのまま保有し続けた場合の更新費用の試算では2千152億円、年当たり53・8億円必要であり、全てを更新することは非常に難しい。そのため、施設の統廃合や機能の集約・複合化し、

普通会計で所管する公共施設の床面積を今後40年間で40%削減することを目標に掲げている。計画を進める上で市民に周知し、一緒に考えてもらうべきではないか。

**総合政策部長** 今後進めていく再配置計画の策定では市民の皆様の意見を十分にお聞きして進めていきます。

# 市政について

びぜんの桜 津島

誠



# 管理者はきれいな道路にするべきです

びぜんの桜

田口 健作



**問** 市長は昨年の11月議会で、住民監査請求の代表者であるYさんを市長に乗せて久々井の大型自動車教習所に連れて行ったことを「公務」だと答弁しているが、この行動は市長のどんな公務に該当するのか。

**市長** 私は市長という立場で市長車を使用するのであって、当然公務という認識でおります。

## 財政の健全化について

**問** 陸上競技場の補修費用や商工会議所の補助金復活等は、なぜ改選前に予算付けをするのか。これらは選挙対策であって、結局一貫した政策がないのではないのか。

**市長** ぜひとも、改選前との憶測はされたいようにお願いたします。

**問** 高校生家庭の支援金6万円は庁議で議論したのか。

**市長** 当然庁議で決定したものであります。

**問** 市長はふるさと納税を恒久財源として考えているのか。

**市長** 税制は国が決めるもので、一自治体の市長がとやかく言うものではありません。

**問** このままだと将来の市はどうなるのか。夕張の二の舞になるような危機感があるが、いかがか。

**市長** 私は津島議員の予想は多分当たらないと考えております。

**問** もし財政再建団体になったら市民の税負担はどうなるのか。

**市長** 仮定の話にはお答えできません。

**問** ふるさと納税によるバラマキに同調する議員がおり、将来の備前市が財政破綻に繋がる可能性があるが、それに気付くのは今だと思ふ。同調する議員も市長とともに責任を取らねばならないと思うが、いかがか。

**市長** 取り越し苦労をあまりされたいほうがいいと思います。

**問** 小・中学校で余剰になったタブレットの数量

は何台ぐらいあるのか。  
**教育部長** 残数として159台となっております。これはまなび塾等で使っています。

**市長の政策決定について**  
**問** 今や、予算や議案の修正や否決の数は市始まって以来だし、いずれ備前市の歴史に残る混乱期として記録される市長として、政策の決め方についてどのように考えているのか。

**市長** 重要であると判断したものを、政策としてスピード感を持って決定実行していくことが必要と考えています。

**問** 誰も苦言を呈さなくなると都合の悪い情報が上がらず、バランスのとれた判断ができなくなるが、市長に対して忠告するような者は議会以外に市役所にいるのか。

**市長** 毎日市役所では、副市長以下幹部の人たちと一緒に議論をし、正しい政策決定をしております。

**問** 頭島1号線改良工事

**問** 平成29年度における水道改修場所と予算は幾らでしょうか。また、鹿久居島水源地の改修が大幅に遅れていますか、いつになるのですか。

**まちづくり部長** 不良排水管整備改良事業費として、2億2千300万円計上しております。工事場所としては、伊里中、日生町寒河、三石地区及び伊部、片上、香登地区の老朽化診断結果を踏まえて整備をしていきます。鹿久居島水源地の改修の時期は、平成29年度において配水池の実設計委託費及び敷地造成工事費を計上しており、完成は平成30年度末の供用開始をめざしております。

**問** 鹿久居島配水池が完成したら、一部に石綿管を使用している頭島の水源地は利用しなくてよくなるか。

**まちづくり部長** そのとおりです。

について、大西カキ処理場から途中未整備部分の整備はいつになりますか。  
**まちづくり部長** 未整備部分につきましては平成29年度で整備する予定にしております。

**問** 平成29年度予算で、市道管理費の内、道路清掃予算は幾らですか。

**まちづくり部長** ごみなし、草なし等に係る予算は、市道維持管理、草刈等の委託料が、483万2千円、作業員賃金が55万2千円、またボランティア団体への補助金が21万8千円で合計1千250万円余を計上しております。

**問** サイクリングロード計画は、いつ、どこで、どういう理由で計画されたのですか。

**まちづくり部長** サイクリングロード計画は、岡山県が地域の観光振興や



サイクリングロード路面標識

賑わい創出を目的として、平成27年度から「爽快、岡山満喫サイクリングロード事業」として県内8ルートを指定して整備をしています。

**問** 観光ツアー促進事業の今までの成果についてどうなっていますか。

**まちづくり部長** 2月末現在、参加実施済み、実施予定者合わせて約6千名となっております。主な立寄り先は、旧閑谷学校、日生での昼食、備前焼体験ツアーであります。

**問** 無線公衆LANの計画場所と、庁舎内LANのパワーアップをしていただきたいが、いかがでしょうか。

**総合政策部長** 平成29年度にいんべ会館、八塔寺国際交流ビラの2か所を検討しています。庁舎内WiFiは通信状況をみながら検討します。

**問** 庁舎内は、パスワード不要にしてほしいが、総合政策部長 検討します。

# 吉村市長のバラマキ予算に異議あり

びぜんの桜 橋本 逸夫



**問** 平成29年度当初予算は、骨格予算と呼べるものではなく、市長選挙を目前に控えた大盤振る舞いのバラマキ予算だ。しかもその財源は、近々見直しが叫ばれているふるさと納税で県下の市で一番財政状況が悪い備前市としては、心配だ。

**市長** 市の財政は、着実に改善してきている。人口減少に対処するために必要な施策の展開を行っている。

**問** 新聞で備前市のふるさと納税の手法に対して批判する記事が掲載されていた。総務省の規制も予想されるが、歳入欠陥になることはないのか。

**市長** あの記事は否定的な見解ではなく、新しい手法として紹介されており、備前市の独自性の紹介PRだと思っている。ふるさと納税が大幅な減額になっても、28年度で積み立てたまちづくり応援基金を取り崩して使うから大丈夫だ。

**問** 備前市が販売代理店になっていと言われたきた日本マイクロソフト社は「備前市は販売代理店ではない」と言っており、市の説明と矛盾しているが。

**市長** 市は日本マイクロソフト社と販売代理店契約はしていない。スリープロという代理店と契約している。

**問** 私は、市民の間で不公平感がある現行のタクシーチケット交付事業を改善すべきと思う。市長はバス停までの距離要件を撤廃する考えのようだが、バス停まで近くて元気なお年寄りや自家用車を所有して運転されるお年寄りにまで交付するのはおかしいと思う。バス停まで相当距離があるお年寄りや近くても歩行が困難で通院や買い物に困っている方に進呈すべきではないのか。

**市長** 提案された真に必要なとされている人に交付すべく、より優しい制度に改善していきたい。

**問** 図書館建設について 市長は4年前、市民センターで開催された「1日こども図書館フェスティバル」で多くの児童や保護者の前で「備前市も瀬戸内市に負けないような立派な図書館を建設します。」と明言されたが、何ら具体的な計画が示されていないが。

**市長** 図書館建設に向け、計画を策定するなど具体的に動いてまいります。備前市消防団日生方面隊の出初式について

**市長** 議会初日の市長の政務報告でその他の行事については報告があったが、日生方面隊の出初式に出席し、壇上で祝辞を述べたおきながら政務報告に一言も触れないのは意図的なものを感じる。

**市長** 特別に意図したものではない。

**問** 備前緑陽高の森先生に備前市・片上地区の人口実態と将来を講演していただき、地域住民の方々と人口問題を考えた。「備前市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」のご創生人口ビジョンの取組みに加え住民の力をお借りし、森先生から指導を受け、市職員と地域と3者連携で10年スパンで捉えて小学校区で課題解決に取り組むべき。

**市長** 地域住民の方が地域の課題を共有し、取り組むことが効果的で持続性のある対策になると考える。片上高校の校長と備前緑陽高校の校長は兼務でもあり、連携協定に努力する。小学校区単位に住民と協働して地域をよくすることが、最終的に定住化あるいは少子化の歯止めとなる。ソフト面を十分市政に取り入れていく。

**問** 中高生に人口問題や市に対する意識調査を行うべき。

**市長** 将来の備前市を背負う中高生への意識調査を進める。

**問** 発達障害者支援と新たな組織体制を

**問** 市内の発達障害への対応人数、取組みと今後の課題は。

**教育長** 発達障害の診断を受けている子どもは全体の約10%（233名）。効果的に進めるため家庭や医療機関との連携が不可欠で、いかに連携を深めるかが課題である。

**問** 旭川荘療育アカデミー院長松本先生は、幼児期の重要性、脳の可塑性は7歳までに対応が必要と言われる。身近な場所に通園施設を設置し、臨床心理士、臨床発達心理士による巡回相談が行われるのがよいが、市に現場とのパイプ役がない。相談結果を生かす組織体制づくりを行うべき。

**保健福祉部長** 発達障害者支援担当者会議を毎月開催し、県の発達障害支援センターからも参加がある。巡回相談は希望園

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 発達障害の対策には入園前から本人、家族など多くの情報を把握し、また理解する人材を尊重する体制づくりをすべき。

**教育長** こども園などと小学校の連携に取り組み、発達障害者に対して就学前から就労までの支援が可能になるよう相談支援ファイル「はぐくみ」作成の取組みを進める。

**問** こども園などに臨床心理士、臨床発達心理士の有資格者は何人か。また、有資格者には研修参加を業務として扱い、育成を行う人事制度の確立と対応の処遇を行うべき。

**教育長** 臨床心理士の資格者は1名。処遇の検討や支援についての各種研修に参加させていく。

**問** 備前市が販売代理店になっていと言われたきた日本マイクロソフト社は「備前市は販売代理店ではない」と言っており、市の説明と矛盾しているが。

**市長** 市は日本マイクロソフト社と販売代理店契約はしていない。スリープロという代理店と契約している。

**問** 私は、市民の間で不公平感がある現行のタクシーチケット交付事業を改善すべきと思う。市長はバス停までの距離要件を撤廃する考えのようだが、バス停まで近くて元気なお年寄りや自家用車を所有して運転されるお年寄りにまで交付するのはおかしいと思う。バス停まで相当距離があるお年寄りや近くても歩行が困難で通院や買い物に困っている方に進呈すべきではないのか。

**市長** 提案された真に必要なとされている人に交付すべく、より優しい制度に改善していきたい。

**問** 図書館建設について 市長は4年前、市民センターで開催された「1日こども図書館フェスティバル」で多くの児童や保護者の前で「備前市も瀬戸内市に負けないような立派な図書館を建設します。」と明言されたが、何ら具体的な計画が示されていないが。

**市長** 図書館建設に向け、計画を策定するなど具体的に動いてまいります。備前市消防団日生方面隊の出初式について

**市長** 議会初日の市長の政務報告でその他の行事については報告があったが、日生方面隊の出初式に出席し、壇上で祝辞を述べたおきながら政務報告に一言も触れないのは意図的なものを感じる。

**市長** 特別に意図したものではない。

**問** 備前緑陽高の森先生に備前市・片上地区の人口実態と将来を講演していただき、地域住民の方々と人口問題を考えた。「備前市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」のご創生人口ビジョンの取組みに加え住民の力をお借りし、森先生から指導を受け、市職員と地域と3者連携で10年スパンで捉えて小学校区で課題解決に取り組むべき。

**市長** 地域住民の方が地域の課題を共有し、取り組むことが効果的で持続性のある対策になると考える。片上高校の校長と備前緑陽高校の校長は兼務でもあり、連携協定に努力する。小学校区単位に住民と協働して地域をよくすることが、最終的に定住化あるいは少子化の歯止めとなる。ソフト面を十分市政に取り入れていく。

**問** 中高生に人口問題や市に対する意識調査を行うべき。

**市長** 将来の備前市を背負う中高生への意識調査を進める。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 発達障害の対策には入園前から本人、家族など多くの情報を把握し、また理解する人材を尊重する体制づくりをすべき。

**教育長** こども園などと小学校の連携に取り組み、発達障害者に対して就学前から就労までの支援が可能になるよう相談支援ファイル「はぐくみ」作成の取組みを進める。

**問** こども園などに臨床心理士、臨床発達心理士の有資格者は何人か。また、有資格者には研修参加を業務として扱い、育成を行う人事制度の確立と対応の処遇を行うべき。

**教育長** 臨床心理士の資格者は1名。処遇の検討や支援についての各種研修に参加させていく。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 発達障害の対策には入園前から本人、家族など多くの情報を把握し、また理解する人材を尊重する体制づくりをすべき。

**教育長** こども園などと小学校の連携に取り組み、発達障害者に対して就学前から就労までの支援が可能になるよう相談支援ファイル「はぐくみ」作成の取組みを進める。

**問** こども園などに臨床心理士、臨床発達心理士の有資格者は何人か。また、有資格者には研修参加を業務として扱い、育成を行う人事制度の確立と対応の処遇を行うべき。

**教育長** 臨床心理士の資格者は1名。処遇の検討や支援についての各種研修に参加させていく。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

**問** 発達障害の対策には入園前から本人、家族など多くの情報を把握し、また理解する人材を尊重する体制づくりをすべき。

**教育長** こども園などと小学校の連携に取り組み、発達障害者に対して就学前から就労までの支援が可能になるよう相談支援ファイル「はぐくみ」作成の取組みを進める。

**問** こども園などに臨床心理士、臨床発達心理士の有資格者は何人か。また、有資格者には研修参加を業務として扱い、育成を行う人事制度の確立と対応の処遇を行うべき。

**教育長** 臨床心理士の資格者は1名。処遇の検討や支援についての各種研修に参加させていく。

**問** 備前市に年5回実施しており、気になる子のいるクラス運営に助言を行っている。巡回相談の結果を生かすため有資格者を中心に学校・園・関係機関等の連携を強化し、支援の推進を図る。

# 人口減少問題に小学校区で市民を加えた取組みを

至誠会 尾川 直行



## 農業政策・医療政策・議会機能強化・ふるさと納税事業について

新志会 立川 茂



### 市の農業政策について

**問** 27年の農林業センサスによると前回（22年）対比で耕作放棄地は9ha増加で放棄地総数274ha、農業従事者340人減少で総数882のうち60才以上が546人。この結果からどのような課題を読み取られるか。市として取り組んだ具体策はどうであったのか、あわせて今後の農業政策の方向性をお尋ねする。

**市長** 後継者の確保・育成、新規就農しやすい環境整備が課題。過疎地域自立促進計画の具体的進捗は新規就農者3名、認定農業者5名、農地利用集積2組の実績。今後の農政は農・林・水産と官民連携で付加価値を高めた作物を求めていく必要があります。

### 医療政策について

**問** 地域医療を守るための取組みは。地域医療を守る条例制定等は。在宅医療への取組みは。市立病院が求められる役割と

地域包括ケア病棟への取組みと問題点は。市立三病院の経営効率化と再編計画への見解を聞く。

**市長** 医療・福祉に関わる方々の顔の見える連携づくり、地域の力を加えての連携とバックアップを推進します。

### 病院事業管理者

**病院事業管理者** 病院事業全体で「地域包括ケアシステム」の構築に取り組む。地域ケア病床は備前病院22病床が利用率80%以上と高く、吉永病院でも開設予定、退院先・コメディカルの確保等問題点もある。各病院の連携により経営強化を図り、各病院が地域の信頼を得るべく取り組んでおり、現在のところ再編は考えていない。

### 保健福祉部長

**保健福祉部長** 在宅医療の四大機能（退院支援・日常の療養支援・急変時対応・看取り）を踏まえ、専門職協議会や医療機関連携、情報共有を推進。

### 議会機能の強化

**問** 二元代表制のもと、

住民のための議会事務局の充実と法制対応を含む機能充実と強化が図られるべきと考えるが、見解をお伺いする。

**市長** 議会として考えることであり、首長の見解を述べることは差し控えたいと考えます。

### ふるさと納税について

**問** ふるさと納税の募集手法について、ふるさと納税本来の趣旨を踏まえ対応するよう総務省から通知があり、市の監査委員からも法令等には違反しないが、事務処理上改善する必要ありとの指摘もある。見解と今後の対応はどうするのか。

**市長** ふるさと納税寄附金を契機に地方創生に繋げる方策として、今後継続してまいります。



## 備前市議会ホームページの利用について

備前市ホームページ内にある備前市議会ページでは議会に関する様々な情報を掲載しています。

■ 会議情報 本会議・委員会開催日程や傍聴のご案内

■ 議会インターネット中継 生中継・録画視聴

■ 審議結果 議案や請願の審議結果（予算を除く議案原文も掲載）

■ 会議録の検索 会議録や委員会録

■ 情報の公開 直近の政務活動費収支報告、議長交際費など

■ 市議会広報等 市議会だより（創刊号からのバックナンバーあり）



備前市議会の模様はインターネットで録画視聴できます。

備前市ホームページの市議会ページからなら、各議員ごとの一般質問や採決時のようすなど、容易に検索して視聴できます。

ただし、視聴に当たっては、通信量制限がある場合のほか、諸条件をご自身で必ず確認のうえご利用ください。

URL

[http://www.city.bizen.okayama.jp/busyo/gikai/p\\_gikai.html](http://www.city.bizen.okayama.jp/busyo/gikai/p_gikai.html)

QRコード



## 総務産業委員会

3月14日、16日に委員会を開催し、付託議案23件及び請願1件の審査を行いました。議案等に対する主な委員会審査の内容は、次のとおりです。

### 《主な議案の審査内容》

#### ■議案第3号

#### 平成29年度土地取得事業特別会計予算

土地貸付料は、主に備前市施設管理公社への備前片上駅駐車場用地の貸付け27万9千270円。更地を貸付けているため、駐車場の整備は、管理公社と相談の上との答弁がありました。

#### ■議案第13号

#### 平成29年度水道事業会計予算

担当課より、漏水調査は管路台帳を基に管路が入っている所を見て歩くとともに音を聴く器械を道路に当てながら、夜10時から朝5時まで音の少ない時に行っている。28年度は佐山を調査。29年度は、伊部・片上を調査するとの答弁がありました。

#### ■議案第28号

#### 市の組織及びその任務に関する条例の一部改正

平成29年4月からの組織の見直しに係る条例の改正を行うもの。

委員から機構改革の意図するところを聞く質疑がありました。執行部の答弁は次のとおり。

①魅力あるまちづくりへ、ふるさと納税・備前焼・日本遺産・世界遺産をまとめて展開していくシティセールス推進課の設置。②備前焼振興係で、六古窯の日本遺産認定をめざし、備前焼を国外にも普及させていく。③幼児教育課を、就学前教育の充実、小1プロブレムの解消のため教育委員会へ移管設置。④ふるさと創生関連では、業務が多様化している現行の企画課の所管事務を総合計画、定住自立圏、連携中枢都市圏などに整理し、費用対効果や事業の選択と集中を明確にするため、地方創生推進課を創設。

#### ■議案第31号

#### 一般職非常勤職員及び臨時任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正

一般職非常勤職員及び臨時任用職員の賃金について、国家公務員の給与改定等に準じた改正を行うため、所要の改正を行うもの。

委員から、保育士に関して臨時保育士の時間給など、他の自治体よりも条件が良い状況だが、保育士確保のために市独自の賃金設定などの考えはないのかとの質疑がありました。国も官民格差を問題視していることや民間の保育士の底上げ等も含め、公務員においても今後、議論が行われると考えているとして、他市の状況、国の動向も注視していきたいとの答弁がありました。雇用に関しては、正職・臨職等の処遇の在り方や賃金額について、今後も検討していく必要があるかもしれないとの答弁がありました。

#### ■議案第44号

#### 農業委員会の委員等に関する条例の制定

農業委員会等の法律の規定に基づき、備前市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるとともに、委員を選定するための備前市農業委員選定委員会を設置するため、

規定を整備するもの。

委員から、地域性に配慮した選任となるよう努めてほしいとの意見がありました。

#### ■議案第46号

#### 過疎地域自立促進計画の一部変更

平成28年3月17日に議決された備前市過疎地域自立促進計画に記載された香登4号線拡幅事業の内容の変更に伴い、行財政上の特別措置を受けるため、計画の一部を変更するもの。

委員から、拡幅理由の質疑があり、道幅が狭く、通行等に困難があった。以前は幅を6mと計画していたが、現場の状況から7.5m幅員に変更するとの答弁がありました。

#### 《報告事項》

#### ■市営駐車場について

日生町の新橋・中日生の市営駐車場の鉄板の劣化に伴い、4月1日より、調査を開始。現利用者には、利用不可となる期間等の説明をしているとの報告がありました。

#### 《所管事務調査》

■監査委員について  
委員から、議員から選出される監査委員の不在をど

う考えているのか、執行部の見解を尋ねる質疑がありました。執行部からは、適切でない状況であると考慮しており、法では、2人の合議制であるので遺憾であると感じているとの答弁がありました。

#### ■市の公有財産について

委員から、旧アルファビゼンについて公有財産台帳は整備されているのか。また文書の保有年限はどうなっているのかとの質疑がありました。執行部からは、旧アルファビゼンの公有財産台帳は、第1種（保存期間は30年以上）で、電子データで保存となっていると答弁され、文書保存期間に関する基準資料が提出されました。

#### 《行政視察》

2月16日に大鵬薬品工業(株)岡山工場でチオピタ・ドリンクの生産ラインときれいすぎる水を環境に配慮したものにするピオトープを視察。NTN(株)岡山製作所では、工場内の視察。地元の高校生の雇用状況や地元で働きたい大学生を対象に地元採用を導入しているとの説明を受けました。  
(委員長 山本恒道)

## 厚生文教委員会

3月15、17、21日に委員会を開催し、付託案件（議案21件・請願2件）の審査を行いました。特に、議案第34号、第42号、43号及び45号では多くの意見が出され、慎重な審査となりました。

採決の結果、42号は原案可決（修正案は否決）、43号は否決、45号は修正可決と決しました。その他の議案は全会一致で原案のとおり可決されました。

また、請願第14号は不採択と決し、請願第13号は継続審査とすることとしました。

### 《主な議案の審査内容》

#### ■議案第33号

**市営バス運行事業に関する条例の一部改正**

市営バス路線に頭島線を新設することに伴い、規定を整備するものです。

委員から、今回新設のバス路線は実証実験（10月1日から本格運行）であるため、その結果次第では減便やなくなることもあり得る

のかとの質問に対し、執行部からは、利用者数を約400人と予測し、JR利用者による観光客増などで便数を増やす考えもあるとの答弁がありました。

#### ■議案第34号

**市立保育園設置条例の一部改正**

1歳から5歳児までの保育料無償化制度を0歳からの全園児に拡充して実施するため、規定を整備するものです。

委員から、0歳児の人数、29年度保育士は何人予定しているのか、保育士は確保できるのか、継続事業なのか、財源についてなど多岐にわたる質問があり、執行部からは、0歳児は33人、保育士（正規・臨時職員）は124人を予定している点と、財源にふるさと納税を充てているが、今後事業を進めるに当たり恒久財源を確保する必要があるとの答弁がありました。

#### ■議案第40号

**看護学生等修学資金貸与条例の一部改正**

薬剤師の確保を図るため、貸与対象者に薬剤師をめざす学生を加えるように、規定を整備するものです。

委員から、薬剤師を募集しても集まらない原因は何かとの質問があり、執行部から、薬剤師の卒業年数が4年から6年になったこと、大手チェーン店の院外薬局が高額な給与体系で雇用を進めているため、東備地域には来ていただけがない実態があるとの答弁がありました。

#### ■議案第42号

**病児・病後児保育施設設置条例の制定**

現伊部保育園内に専用スペース等を設置するため、規定を整備するものです。

委員から、2千500円の利用料を無料とする修正案が出されましたが、否決され、採決の結果、原案のとおり可決されました。

市内に、このような施設はなく、本施設は定員3人インフルエンザ等法定伝染病に罹患した幼児の受入れはできないことや将来的には病院内で行っていききたいとの説明がありました。

委員からは、今後施設を各地域に増やしてほしいとの意見がありました。

#### ■議案第43号

**高校生等子育て世帯生活応援券交付条例の制定**

本案は、昨年9月、12月の定例会に続き、今定例会にも提案されたもので、執行部から交付額6万円の根拠や他自治体の例の説明を受けるなどして、慎重に審査した結果、賛成少数で否決されました。この結果を受け、原案賛成者から少数意見が出され、これを留保して本会議へ報告することとなりました。

#### ・少数意見の要旨

急激な人口減少は社会経済に与える影響が大きく、市が策定した「人口ビジョン」では15歳から34歳までの社会減が顕著で、特に、高校進学時などをきっかけとする転出を抑制するため、子育てにお金がかからず結婚して住みたいまちをめざす備前市には必要だ。

#### ■議案第45号

**教科用図書選定委員会条例の制定**

委員から、教科用図書選定委員会及び研究委員会委員の報酬月額3千円（旭東地区教科用図書採択協議会と同額）を6千500円（備前市の他の委員と同額）にすべきとの修正案が提出され、可決されました。

本会議では認められず、原案のとおり可決となりました。

#### 《請願の審査》

#### ■請願第13号

**給付型奨学金制度改善に関する請願**

国の動向等を見て、慎重に判断していくため、継続審査としました。

#### ■請願第14号

**年金の毎月支給を求める請願**

年金受給者が安心して生活できる国際水準並みの毎月支給にすべきとの賛成意見と現行のままでの反対意見があり、採決の結果、不採択と決しました。

#### 《報告事項》

#### ■市民生活部・教育部関係

地球温暖化対策実行計画、スクールバスの事故、規範意識向上モデル校指定、4月から小中一貫教育を始める伊里学園の開校等についての報告がありました。

#### ■保健福祉部関係

29年度の臨時福祉給付金の支給、Bポイント制度の概要についての報告がありました。

（委員長 掛谷 繁）

## 予算決算 審査委員会

本委員会は、議会から付託された平成29年度一般会計予算と28年度一般会計補正予算(第5号)の審査を行いました。従来、審査は総務産業委員会と厚生文教委員会単位の分科会に分けていましたが、今回から議員全員(15名)で3月21日から23日までの3日間にわたって慎重に審査しました。

### 《議案審査の主な内容》

#### ■平成28年度一般会計補正予算(第5号)

グループタクシー利用補助金を年度途中で増額補正したにもかかわらず、発行済みのタクシー券の約50%が未利用のまま残りそうだとこのことでの1千160万円の減額について、本事業で行っているタクシー券助成は元々が必要でない世帯にまで支給しているのではないかと指摘がありました。その他に関しては、特段の問題点はなく、全会一致で原案可決としました。

#### ■平成29年度一般会計予算

見が分されました。まず、本予算が前年対比で4.8%増の211億円で過去最大の予算規模となり、直後に(4月9日)市長選挙を控えた骨格予算なのかと疑問を呈する意見が出る中、新規施策や事業拡大等の問題で賛否が分かれませんでした。個別の内容は次のとおり。

- 高校生等子育て世帯生活応援券発行事業は過去2回、一人当たり5万円の商品券を支給するという提案が議会で否決されましたが、今回は6万円に増額しての提案。
- 小・中学校児童生徒の給食及び学用品費を一律全額無償化する提案。
- 備前焼まつりに対する市からの補助金を一昨年が20万円、昨年在30万円であったものを一挙に2千万円へ増額する提案。

#### ●委員会修正

委員会では数多くの点について、活発な質疑・議論が展開された後、前述の3件について以下の内容の修正案が提出されました。

①高校生一人当たり6万円の商品券を支給する事業は歳出予算の全額(7千348万円余)を削除。

②給食及び学用品を全額無償化案は、生活に困窮している世帯の児童・生徒には既に実施している事業があり、一律に全員無償化は行き過ぎではないかとのことで、給食は半額相当に予算額を減額、学用品は一律無償化部分を削った歳出予算(8千657万円余減額)にすることで、制度の再考を促すものにする。

③備前焼まつりの補助金を2千万円に増額する提案に対して、備前焼産業を援助したい気持ちは分かるが、一気に大幅な増額は容認できない。昨年比100万円増の400万円とする。

#### ●委員会採決

この修正案に対して、市の人口減少や少子化に対応するためには必要だとする反対意見と、一度開始したら容易に取り止めることが出来なくなるので財政状況を考慮して慎重に実施すべきだとの賛成意見があり、採決の結果、修正案に賛成が8名、反対が6名となり、修正案が可決されました。

なお、修正部分を除く原案は、全会一致で可決されました。

(委員長 橋本逸夫)

## 旧アルファビゼン盗難事件 調査特別委員会

昨年8月に設置された本特別委員会は、4月以降も調査を続けられるよう、最終日(3月24日)に次年度の調査経費を50万円以内と定める委員会発議を行うことを決定しました。この発議は本会議でも全会一致で可決されました。

旧アルファビゼン内部の盗難事件に関する情報提供のお願いを前回議会だより(平成29年2月発行)で行っておりませんが、引き続き、事件に関して皆様からの情報をお寄せくださいますようお願いいたします。



### 【情報提供先】

備前警察署

☎0869 63-0110

【本記事に関する問合せ先】

市議会事務局

☎0869 64-1803

## 市役所庁舎建設に関する 調査特別委員会

3月1日、新庁舎建設に係る基本構想・基本設計に着手されたことが特別委員会に報告されました。

設計期間は、平成29年6月末までで、設計費3千996万円余で、新しい市役所庁舎のコンセプトやその全体

像が明示されていくことになりました。また、現庁舎裏側の取得した用地を工事中の仮駐車場として整備していくことも報告され、議会が求めた市民との意見調整の場を考えながら進められることとなっています。

## 委員会視察の報告

平成28年度、総務産業委員会・厚生文教委員会は、先進施策の調査研究のため、それぞれ各市を訪問する行政視察を実施しました。

### 総務産業委員会

平成29年2月7日、8日、佐賀県鳥栖市、伊万里市を訪問し、人口増対策と焼物振興の先進施策について研究しました。

鳥栖市が交通の要衝を活かした企業誘致やスポーツチームのシンボル化による定住・交流人口増をみていることや大規模見本市への出展補助による伊万里市の焼物振興策などを聞き、当市での施策展開を考える機会としました。



### 厚生文教委員会

平成29年2月9日、10日に奈良市、岐阜市を訪問し、教育施策等と健康福祉施策にかかる先進施策を調査しました。

小中一貫教育（奈良市）は、学校間、教職員間の調整連携の大切さを聞き、スマートウェルネス事業（岐阜市）では「歩くこと」に焦点を当てた道路整備や健康チェックなど複合的な取り組みを見聞し、大いに参考にすべきものとなりました。



### 次期定例会日程は5月中に決定

市長選挙が行われたことにより未定となっています。決まり次第、お知らせしますので、皆さまの傍聴をお待ちしております。

詳しくは ☎0869-64-1803 まで

### お知らせ

4月に議員の所属変更、身分の異動がありました。

川崎輝通議員 申し出により無所属に所属変更

田原隆雄議員 市長選挙立候補により失職（4/2）

市長就任（4/24）

### 編集後記

この号がお手元に届くのは新緑も眩しい皐月に入った頃で、新年度も本格的に始まっていると思います。

毎回、市議会の定例会であった出来事を伝えていく議会だよりですが、数ある議案をどう審議したか、各議員と市当局との質問答弁のやり取りを通じて、皆様が住むこの備前市の舵取りがどのようになっていくかを幾分でもお知らせできればと、他の委員四人とともに編集に携わってきました。その思いが幾らかでも皆さんに届いたら幸いです。

次号からは、また、新しいメンバーで、この議会だよりがつけられることとなります。市議会の動きの知ることのできる広報紙として、これまでと同様、ご愛読いただきますようお願いいたします。

（編集委員 山本恒道）